

【平成23年度 授業改善推進プラン】

板橋区立天津わかしお学校

第3学年

【国語】

児童の状況

- ・音読が苦手で、正確に読み、内容を理解することが難しい。本を読んでもらったり、読書をしたりする習慣も少ない。
- ・ひらがな、カタカナの書き順が正しく書けない。文字を書くことに対して抵抗がある。

課題

- ・音読を正確にすらすら行うこと。
- ・ひらがな・カタカナ・漢字の書き順に注意し、丁寧に書くこと。

改善策

- ・音読をする活動を重点的に設け、文章に慣れ親しめるようにする。
- ・一文字ずつ書き順を確認し、その都度声かけをしていく。

【算数】

児童の状況

- ・全般的に意欲的に取り組むことができる。しかし、九九が完璧でなかったり、時計の計算が苦手だったりする。文章題では、問題の内容が理解できず、間違えることも多い。

課題

- ・既習が確実に習熟できていない単元が見られる。
- ・文章題の内容理解ができていない面が多くみられる。

改善策

- ・繰り返し復習問題を解く時間を設けていく。また、間違い直しをきちんと行っていく。
- ・文章に線を引きながら解く習慣を身につかせ、繰り返し文章題を解く時間を設ける。

【社会】

児童の状況

- ・地域学習に興味・関心をもって臨めている。しかし、地図や写真などの資料から必要な情報を読み取ることが十分にできていない。

課題

- ・資料に表されている事柄を理解し、資料から必要な情報を読み取ることが不十分である。

改善策

- ・資料に書き込んだり、色分けしたりなど、作業的な活動を多く取り入れていく。

【理科】

児童の状況

- ・昆虫や身のまわりの植物の観察は、興味・関心をもって学習している。
- ・植物の根茎葉については理解できているが、花の特徴から種別することは難しい。

課題

- ・課題意識をもって観察に取り組ませる。
- ・生物や天体に関する学習において、生活経験を生かして考えることに課題がある。

改善策

- ・観察/実験のめあてや比較対象を明確に示すことで思考力が向上するようにする。
- ・生活経験で得ている知識と学習課題を対比させて予想し、まとめる場を増やすようにするとともに天津の自然環境から得る知識も活かす。

【音楽】

児童の状況

- ・歌唱では、発声や細かいリズムに気をつけて歌うことができるようになってきている。
- ・鍵盤ハーモニカの学習に意欲的に取り組んでおり、できるようになるまで、根気よく練習を続けている。

課題

- ・リコーダーの、指の動きを覚えるのに時間がかかる。

改善策

- ・できるだけ音の数が少ない簡易な曲を取り上げ、楽曲を完成させる経験を数多く積むようにする。

【図画工作】

児童の状況

- ・作品が完成するまで、粘り強く取り組んでいる。
- ・水彩画に対して苦手意識をもっている児童がいる。

課題

- ・絵の具の扱いが不慣れで、溶く水分量や筆につける絵の具の量が上手く調節できない。
- ・自分らしい発想を広げることが苦手である。

改善策

- ・絵の具を使う機会を多く設け、経験を通して確実に技能が身につくようにさせる。
- ・発想が広がるように制作の途中で新たな材料を出したり、友達作品介绍したりする。

【体育】

児童の状況

- ・運動することに対して意欲的だが、体を巧みに動かすことが苦手な面が見られる。また、ゲームは特に進んで取り組めるが、器械運動には苦手意識がある。

課題

- ・遊びなどや運動習慣が身についておらず、体の動かし方を知る経験が少ない。
- ・器械運動に対して苦手意識が見られる。

改善策

- ・体づくり運動に重点をおく。特に多様な動きを身につける運動に取り組む。
- ・ペアで取り組んだり、教え合いの時間を設けたりと、関わり合いを重視した器械運動の授業を展開する。

【総合的な学習の時間】

児童の状況

- ・問題解決や探究活動へ進んで、本やインターネットを使って取り組むことができる。しかし、必要な情報を収集したり、整理したりすることについては学習が必要である。

課題

- ・必要な情報収集することが苦手である。
- ・情報を分析し、まとめる方法がまだわからない。

改善策

- ・辞書を使うことが日常化し、わからない言葉も進んで調べられるよう環境を整える。
- ・調べたことの整理の仕方、表現の仕方について様々な見本を見せながら学ぶ活動に重点を置く

第4学年

【国語】

児童の状況

- ・進んで本を読んだり、物語の登場人物の気持ちを考えたりすることができる。
- ・漢字や言語の学習に関心が高く、意欲的に学習に励んでいる。

課題

- ・文章から正しく読み取ること。
- ・文字を正しくていねいに書くこと。

改善策

- ・指示語や接続詞に着目させ、サイドラインを引かせる。
- ・ゆっくり、ていねいに、正しく書くよう、掲示物や声かけで意識付けをする。

【算数】

児童の状況

- ・算数に関する学習意欲が高く、進んで課題に取り組むことができる。
- ・手際よく正しく計算を行うことができる。

課題

- ・文章題で正しく読み取り立式すること。
- ・正しく作図したり、四角形の特徴を理解したりすること。

改善策

- ・テープ図や数直線などを書き、問題を正しく把握して立式できるように指導する。
- ・作図の手順や四角形の特徴の一つずつ確認しながら学習を進める。

【社会】

児童の状況

- ・公共施設について進んで調べたり、まとめたりすることができる。
- ・地図帳など資料に興味をもって学習に取り組むことができる。

課題

- ・グラフなどの資料を読み取ったり活用したりすること。
- ・都道府県の位置関係や特色について理解すること。

改善策

- ・資料を提示し、読み取ったことを書いたり、自分で考えたりする機会を設ける。
- ・都道府県カルタや新聞づくりなどを通して、都道府県への理解を深める。

【理科】

児童の状況

- ・植物の観察や、気温の変化を調べることは興味・関心をもってしている。
- ・人の体のつくりと動きでは、自分や友だちの動きを比較しながら楽しく学習できた。

課題

- ・観察や実験で得た結果から考察するなど、筋道を立てて考えることに課題が多い。
- ・気候の変化に生じる自然事象についての知識が十分ではない。

改善策

- ・課題と結果が一致した理由や一致しなかった理由を振り返らせる。
- ・自然事象、気温の変化、年中行事との関係を観察させまとめさせる。

【音楽】

児童の状況

- ・歌唱では、のびのびと自分の歌声に自信をもって歌っている。
- ・打楽器のリズム学習に意欲的に取り組んでいる。

課題

- ・器楽の学習では、児童によって習得にかかる時間に大きな開きがある。

改善策

- ・一人一人の児童の能力に合わせて、楽曲を選び、音符を大きく見やすくしたりメロディを簡単にしたりして楽譜を作りかえる。

【図画工作】

児童の状況

- ・豊かな発想で学習に参加している。制作意欲が高い。
- ・技能面の個人差はあるが、工夫して作品作りに取り組むことができる。

課題

- ・豊かな発想で造形活動に取り組めるが、素材に適した道具を用いて接着や着色する応用力が身に付いていない。
- ・三原色からの色作りが思い通りにできない。

改善策

- ・流木、貝殻、糸、布等の素材を使った造形活動を体験させ、接着剤、着色剤が適切に使えるよう繰り返し使う機会を設ける。
- ・三原色から作りやすい色の題材を学習課題に選び、色作りの楽しさを経験させる。

【体育】

児童の状況

- ・めあてをもって進んで運動することができる。
- ・友達と協力して準備をしたり学習したりしている。

課題

- ・遊びなどや運動習慣が身についておらず、体の動かし方を知る経験が少ない。
- ・体を動かすことに苦手意識をもっている面が見られる。

改善策

- ・体づくり運動に重点をおく。特に多様な動きを身につける運動に取り組む。
- ・ペアで取り組んだり、教え合いの時間を設けたりしながら学習を進める。

【総合的な学習の時間】

児童の状況

- ・自分で課題を見つけ、進んで調べたり、体験したりすることができる。
- ・新聞づくりなどを通して、自分の考えや感想を表現することができる。

課題

- ・自分で情報を収集し、活用すること。
- ・自然に対する正しい知識を増やし、理解すること。

改善策

- ・図書資料やインターネットなどを活用して必要な情報を収集できるよう場を設定する。
- ・年間を通して自然体験活動を行う。

第5学年

【国語】

児童の状況

- ・授業以外でも進んで本を読む児童が多く、音読が得意な児童が多い。
- ・自分の意見や感想を書くことができる児童が多くなってきた。

課題

- ・相手に伝わるように書いたり、発表したりするなどの工夫が十分でない。
- ・主語・述語・修飾語の理解が十分でない。

改善策

- ・発表会などを他教科でも行うなど、機会を増やし、相手を意識させるようにする。
- ・主語・述語・修飾語の関係をとらえられるように、文の構成や語句の役割などを確かめながら繰り返し指導していく。

【算数】

児童の状況

- ・整数のたし算・ひき算、小数のしくみについては、おおむね理解できている。
- ・学力に差があるため、個別の指導を行っている。

課題

- ・三角形・四角形と角、小数と分数、がい数についての理解が十分でない。
- ・計算間違いが多い。

改善策

- ・日常生活の中で平行・垂直や図形に関する概念を意図的に取り上げるようにする。
- ・計算問題を繰り返し行い、問題に慣れ、正確に速く計算が出来るようにする。

【社会】

児童の状況

- ・国土の気候と人々のくらしなど、身近な学習内容に意欲をもって取り組むことができている。
- ・教科書以外にも、資料集や地図帳に興味をもって読んでいる。

課題

- ・資料を読み取ったり、活用したりする力が十分でない。
- ・都道府県などの地名や位置関係の理解が身に付いていない。

改善策

- ・教科書や資料集以外にも学習に関連のある資料を適宜提示し、考えたことを記録したり、発表したりする場面を多く設ける。
- ・既習事項を掲示するなど、知識・理解の定着につなげる。

【理科】

児童の状況

- ・実験用具や道具の操作には、興味をもって取り組んでいる。
- ・グループでの活動では、自分の役割を自覚して学習している。

課題

- ・実験結果の予想が根拠に基づいた内容でないため十分な説明ができない。
- ・栽培や飼育活動に好き嫌いがあり、継続的に活動を行える児童に偏りが見られる。

改善策

- ・実験の課題を明確に示すとともに関連する既習した学習内容を復習して課題に取り組む。
- ・授業や日常生活の中で植物栽培や理科的な興味もてるような話題を提示する。

【音楽】

児童の状況

- ・歌唱では、声量のある児童がリーダーシップをとり、クラス全員が楽しんで歌っている。
- ・リコーダーの学習では、習得に時間がかかる児童が少数名いるが、意欲をもって楽曲に取り組み、少しずつ上達してきており自信がついてきている。

課題

- ・リコーダーの学習では、進度に開きがあるので一人一人の児童が達成感を味わうことのできるような教材の提示の工夫が課題である。

改善策

- ・リコーダーの学習では、進度に応じて各々のパートを編曲し、取り組みやすい楽譜を提供する。

【図画工作】

児童の状況

- ・ 図工が好きな児童が多いが、絵画は苦手意識をもっている児童が少なくない。
- ・ 基本的な道具の使い方（はさみ、のりづけ、折り紙）に課題を残す児童がいる。

課題

- ・ 発想や構想をする段階での完成状態をイメージする力に個人差がみられる。
- ・ 自他の作品を鑑賞する視点をもちにくい児童が見受けられる。

改善策

- ・ 教材の見本を用意し、作品に自由に触れることでイメージ化を促すようにする。
- ・ 鑑賞の視点を明確に指示し、相互にコミュニケーションをとりながらの鑑賞を行う。

【家庭】

児童の状況

- ・ 裁縫では、玉結びや玉止めの仕方を習得するのに繰り返し根気よく取り組んでいる。
- ・ 調理実習では、生活の中での経験に差があり、経験豊富な児童がリーダーシップをもってグループをまとめている。

課題

- ・ 調理実習では、消極的な児童がなかなか調理にかかわることができない。

改善策

- ・ りんごの皮剥きなど、一人ひとつの食材を必ずもつように調理実習を計画する。

【体育】

児童の状況

- ・ 自分の課題やめあてに対して、あきらめずに取り組む姿が見られる。
- ・ 友達にアドバイスをしたり、協力して準備をしたりして、協力して学習している。

課題

- ・ 運動の特性に応じた基本的な技能が身に付いていない。
- ・ 自己の能力に適した課題解決の仕方や行い方の工夫をする力が十分でない。

改善策

- ・ 個人のめあてを意識させ、スモールステップで励ましながら、意欲を持続させる。
- ・ 友達と協力したり、教え合ったりする場面を多く取り入れ、互いに高め合えるようにしていく。

【外国語活動】

児童の状況

- ・ 外国語活動に対する心理的な抵抗が、若干見られる。
- ・ 外国語に慣れ親しむことが難しい状況の児童がいる。

課題

- ・ 日常生活において、外国の人や外国語に接する機会が少ない。

改善策

- ・ A L T を積極的に活用し、生の外国語に触れると共に、コミュニケーションをとれるようにする。
- ・ C D ・ D V D 等の視聴覚教材を有効に活用し、外国語に慣れるようにする。

【総合的な学習の時間】

児童の状況

- ・ 自ら課題を決め、それについて情報収集したり、まとめたりすることができるようになってきた。
- ・ グループ学習では、進んで自分の意見をいえる児童が増えてきた。

課題

- ・ 自分の調べたい情報を収集する力や、集めた情報を整理する力が十分でない。

改善策

- ・ 他教科でも情報を収集・整理する学習活動を多く取り入れる。
- ・ 情報収集の仕方について授業で指導する。

第6学年

【国語】

児童の状況

- ・学力の差が大きく、個別対応をしている。
- ・読む能力に関しては、概ね良好である。
- ・書く能力、話す・聞く能力、言語についての知識・理解・技能における、学力の差が大きい。

課題

- ・書く能力の向上。
- ・話す・聞く能力の向上
- ・言語についての知識・理解・技能の基礎を身につけること。

改善策

- ・個々の能力に合わせた日記指導を行う。
- ・個々の能力や習熟度に応じた課題を提示し、スモールステップを踏んで、段階的に理解・習得できるようにする。

【算数】

児童の状況

- ・学力に大きな隔たりがあり、個別指導をしている。
- ・数量や図形における技能及び知識・理解について、5年次までの学習内容を十分に理解・習得していない児童が、半数以上を占めている。
- ・数学的な考え方の基礎が身に付いていない児童が、ほとんどである。

課題

- ・数量や図形における技能及び知識・理解についての、基礎・基本を身に付ける。
- ・数学的な考え方について、論理的に考える能力の向上を図る。

改善策

- ・個々の能力や習熟度に応じた課題を提示し、基礎力や応用力を養う。
- ・個々の能力に応じた課題を提示する。そして、自力解決の時間を十分確保し、自ら進んで課題を解決しようとする態度を養うとともに、話し合い活動などを通じて、より深い考え方や説明の仕方などを学ぶ。

【社会】

児童の状況

- ・社会的事象に対する興味や関心が、向上しつつある。
- ・調べたことを、わかりやすくまとめたり、発表したりすることが苦手である。

課題

- ・社会的事象に対する興味や関心はあるが、調べたことを工夫してまとめることが苦手である。
- ・先人の業績や文化遺産についての知識・理解を深める。

改善策

- ・年表や新聞を作成する作業を通じて、社会的事実をとらえやすくする。
- ・肖像画や人物年表などを使って話し合い活動を行い、人物の考えや時代背景について考えさせるようにする。

【理科】

児童の状況

- ・健康に課題がある児童のため、人間の体について興味をもっている。知識も豊富である。
- ・実験用具や道具の操作には、興味をもって取り組み、グループで役割を自覚して学習している。

課題

- ・観察や実験を通して得られた結果と知識を応用して考えられる力に乏しい。
- ・観察や実験の結果を記録することに苦手意識のある児童が多い。

改善策

- ・予想や仮説を立てさせた上で比較実験や観察を行い、言語活動をなるべく多く取り入れる。
- ・ノートの記録法については、個に応じた具体的な指導を行う。

【音楽】

児童の状況

- ・鑑賞では、いろいろな音楽を自分の感じた印象を素直に書き表すことができるようになってきている。
- ・児童一人一人が自分の声の高さを認識して、クラス全員で歌う際、自然で無理のない発声ができるようになってきている。

課題

- ・歌唱では、少人数で歌うことに慣れておらずそのような場を設定すると、声量が減ってしまう。

改善策

- ・一人一人の歌声のよいところを具体的に教師が評価し、それをクラス全員で認め合う雰囲気をつくる。

【図画工作】

児童の状況

- ・図工が好きな児童が多い。工作、絵画には関心をもって活動に取り組んでいる。
- ・こだわりをもって根気強く作品作りに取り組める児童が多い。

課題

- ・自分の思いを表現しようとじっくり構想を練り作品作りを進める児童と発想が浮かばない児童、思いつきで作業を進める児童の差がある。

改善策

- ・構想を練る時間を確保して、個々の構想を発表し合ってから作品作りを始める。制作途中での鑑賞活動を取り入れ、友達のよさを自分の作品に活かせるような学び合う力を養う。

【家庭】

児童の状況

- ・調理実習や栄養についての関心が高まり、進んで栄養カードのゲームや献立作りに取り組む。
- ・裁縫では、長い時間集中して課題に取り組み、自分なりの創意工夫が少しずつできるようになってきている。

課題

- ・バランスのよい食事を摂ることの重要性を頭では理解できているが、実際の量を目で見て納得することはできていない。
- ・裁縫では、自分の作品を仕上げることに集中しているので、友達の製作を手助けし合うことがもう少しできるようになるとよい。

改善策

- ・調理実習で、一日に必要な野菜の量を使用した副菜作りに取り組み、実際にそれを食べることで必要量を実感できるようにする。
- ・裁縫で、自分の工夫したところを見せ合ったり製作の上で困っているところを発表し合ったりすることで、友達の作品に関心をもつようする。

【体育】

児童の状況

- ・運動に対する意欲の高まりが感じられる。
- ・助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりしようとする態度が養われつつある。
- ・各運動領域における技能面での習熟が、不十分である。
- ・自己の能力に適した課題の解決を工夫することが、難しい。

課題

- ・運動経験が乏しいためか、巧みな動きができなかったり、調子よく走ったりすることが苦手である
- ・自己の運動能力に対する自己評価が低く、工夫して課題を解決しようとする意欲に乏しい。

改善策

- ・運動遊びを取り入れることで、運動の楽しさを知ることができるようにする。
- ・運動の場や学習内容の工夫をすることで、楽しく運動できるようにするとともに、運動することの喜びに触れられるようにする。
- ・自分の運動をビデオの映像で確認することで自己の課題やよいところをつかみやすいようにする。
- ・体育日記を書くことで、学習活動の振り返りができるようにする。

【外国語活動】

児童の状況

- ・外国語活動に対して、心理的な抵抗を示す児童が見られる。
- ・外国語に慣れ親しむことが難しい状況の児童がいる。

課題

- ・外国語を通じて、言語や文化についての理解を深めようとする態度を養う必要がある。
- ・外国語の音声や基本的な表現に、慣れ親しませることが必要である。

改善策

- ・ALTを積極的に活用し、生の外国語に触れると共に、コミュニケーションをとれるようにする。
- ・CD・DVD等の視聴覚教材を有効に活用する。

【総合的な学習の時間】

児童の状況

- ・自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に考えようとする意欲に課題のある児童がいる。
- ・学び方やものの考えかたを身に付け、問題の解決や探求活動に、主体的、創造的、協同的に取り組もうとする態度があまり見られない児童がいる。

課題

- ・全体的に受け身で、自ら進んで学ぼうとしたり、自ら考えて行おうとしたりする意欲が低い。
- ・問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組んだり、自己の生き方を考えようとしたりする意欲に課題のある児童がいる。

改善策

- ・道徳と関連付けて、道徳的な価値について考える場を設定し、あわせて自己の生き方を考える活動を増やしていく。
- ・体育と関連付けて、心と体は一体としてとらえ、食育や運動などの学習活動を通じて、健康について考え、体力の向上を図り、あわせて楽しく明るい生活を営むような態度を育てる。
- ・グループ学習の形態をとることで、協同的に学習活動を行う場面を設定する。

その他

【自立活動の時間】

児童の状況

- ・規則正しい生活を送ろうと、互いに励まし合いながら生活している。
- ・健康に課題をもって入学しているので、時間を見つけては、健康改善の実践をしている。

課題

- ・自立活動の時間に実践している、喘息、肥満、偏食の病類別学習の効果が表れ、学校での運動習慣は身に付いているが、長期休業日等、帰宅中の健康改善意識が十分とはいえない。
- ・心理的な安定を図る必要がある児童が多くなりつつある。

改善策

- ・帰宅中の意識改善をさせるために、帰宅時を想定した学習をを保護者との合同授業で行う。
- ・ゲーム性を取り入れた活動を通じて、コミュニケーション能力の育成や、良好な人間関係の育成を図る。